

日野若者会議

vol.1

(仮) 通信

日野若者会議（仮）とは

次世代を担う若者が、自分たちができること、したいことでちょっと日野にいいアイデアを具体的なアクションにつなげていくための集まりです。おおむね2か月ごとに数回の会議を開催し、プロジェクト化に向け、具体的にできることを考えます。

3月26日（土）に第1回の会議を開催

参加メンバーが集まり、5つのグループに分かれ、「お互いを知り、取り組むテーマを考えよう」という内容で、活発な意見交換を行いました。

参加メンバー（全22名）※敬称略、順不同

・谷口 智哉	・久保 睦美	・木村 優基
・北川 大介	・間瀬 克	・福永 晃仁
・市川 愛海	・志村 昌俊	・馬場 晃一
・杉原 佳乃	・飯山 美沙	・吉海 星来
・野矢 美幸	・錦戸 由佳	・稲盛 愛子
・高木 美知	・福井 美和	・山本 龍成
・盛井 知佳	・山下江津子	
・嶋田奈央美	・谷 大智	

グループ発表の内容（抜粋）

- ・日野町の情報発信が弱い。SNSによる発信。キャッチコピーをつけて人にお知らせする。
- ・若者が集える場をつくる。みんなで何かを作るイベントなど。みんなで何かをつくると一体感が感じられる。
- ・何でも貼ってよい掲示板があれば、町内の発信として使える。
- ・ほどほどに安全が守られていて、管理されすぎでない、子ども達が自由にできる場所。
- ・楽しくワクワク学べる場。
- ・今ある古民家を再利用し、地域住民、よその方、どちらにも心地よい新しい複合施設。
- ・日野町について新しく知る、きっかけづくり。

今後の取り組み（予定）

日野若者会議（仮）の参加者有志で運営委員会を立ち上げ、取り組むテーマや今後の進め方を決めます。

第2回会議から具体的な取り組みに向けた議論を進めていきます。



◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎ 0748-52-6552

歴史的快拳

先日、日野町にとってうれしいニュースが飛び込んできました。日野町出身のボートレーサーである遠藤エミ選手が、さる3月21日(月・祝)に行われたボートレース競争最高峰のレース、SG「第57回ボートレースクラシック」で初めて優勝されました。女性レーサーが優勝するのは70年のボートレースの歴史の中で初めてのこと、歴史的快拳です。

4月3日(日)には、その偉業をたたえ、大津のボートレースびわこにて三日月大造知事とともに遠藤選手の表彰をさせていただきました。知事からは県が独自に開発したイチゴの新品種「みおしずく」を、私からはふるさとの味ということで「日野菜の詰め合わせセット」をお渡ししました。遠藤選手

からはお礼に、実際に使用されたボートのプロペラ(サイン入り)をいただきました。こちらは役場1階玄関のケースにて展示しています。

遠藤選手は日野小学校、日野中学校、八幡商業高校を卒業された後、ボートレーサー養成所に入学し2008年にデビューをされました。表彰式では、「自分との闘いで、強い精神力が求められる競技だが、たくさんの方の支えがあつて優勝することができました。感謝の気持ちを忘れず、さらには上をめざしていきたいです」とお話されていました。8割以上が男性選手の世界で、女性として優勝することには相当な努力があつたものと思います。

日野町には、遠藤エミ選手のほか、スキーモーグルの伊藤みき選手、レスリングの園田新選手などスポーツ分野を中心に多くのトップ選手がおられます。日野町の誇りであり、町の子ども達にとっても憧れの存在です。町に元氣と勇気を与えてくれる日野町出身のアスリートの皆さんに、心から感謝を申し上げたいと思います。

外国人さんと話してみませんか？

このコーナーでは、日野町に住む外国人さんの簡単なあいさつや文化について紹介します。

そのほか、それぞれの国の豆知識も掲載する予定です。これを機会に、ぜひ日野町に住む外国人さんとお話ししてみませんか？

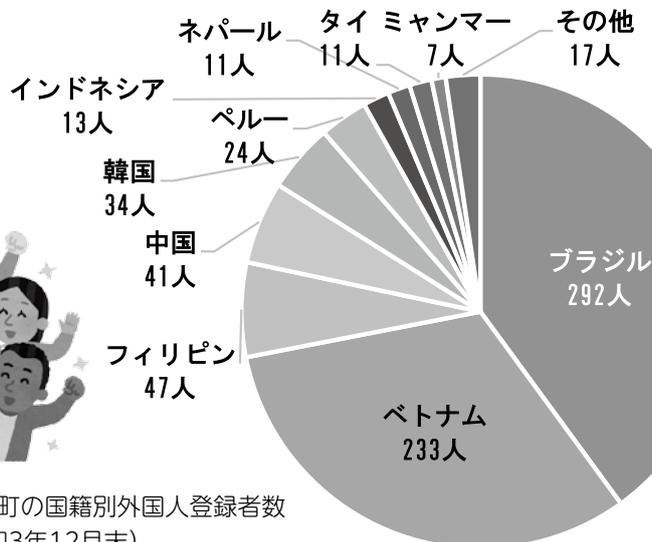
今月号は、日野町にはどんな国籍の方が住んでいるのか紹介します。

日野町には、**730人**の外国人さんが住んでいます。

(令和3年12月末)

ブラジルとベトナム国籍の方が多く住んでいます。

※今月号から2か月に1回掲載する予定です。



日野町の国籍別外国人登録者数 (令和3年12月末)

memo

技能実習生など、日野町に住む外国人の人口は毎年増えています。

◆問い合わせ先 企画振興課 秘書広報担当 ☎0748-52-6550